

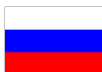
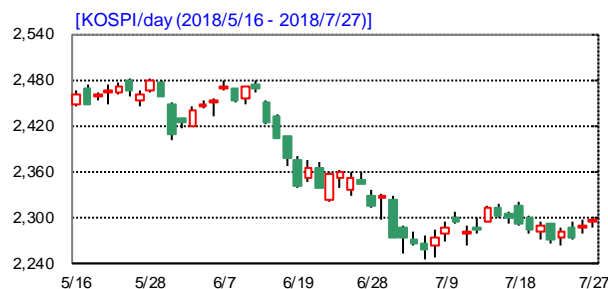


## 【韓国】 総合指数は週間で0.3%高と反発、今週は経済指標の結果に注目

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.3%高と反発。一進一退の展開で、週初の23日は前週末にトランプ米大統領が中国への課税拡大の準備を表明するなど保護主義を強める米通商政策への警戒が投資家心理の重しとなり、反落してスタート。24日は北朝鮮がミサイル関連施設の解体を始めたとの報道を手掛かりに関連銘柄が買われ相場を支えた。25日は反落したが、週後半は米欧首脳が貿易摩擦の緩和で合意したことで投資家心理が改善する中、好決算を発表した銘柄を中心に買いが入った。27日は節目の2300ポイントに迫る水準で取引を終えている。今週は週前半発表の経済指標の結果次第でボラティリティが高まる可能性がある。7月31日-8月1日に6月の鉱工業生産、物価統計、輸出入統計、韓国製造業PMIなどが発表される。

▼指数チャート

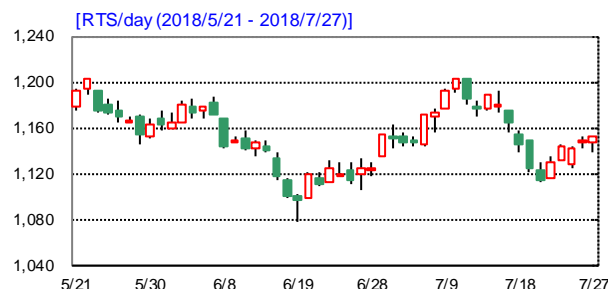


## 【ロシア】 RTS 指数は週間で3.3%高と反発、今週は原油相場をにらんだ展開か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で3.3%高と反発。米国による新たな対ロ経済制裁の可能性が懸念され、下落する場面もあったが、堅調な通貨ルーブルやブレント原油を背景に好調に推移した。前週の大暴落の一因だったブレント原油相場が反転したほか、法人税支払いのために輸出企業が主要通貨売り・ルーブル買いを行ったことでルーブル高基調となり、安心感につながった。27日のロシア中央銀行の金融政策決定会合では政策金利が市場予想通り7.25%に据え置かれた。RTS指数は23日に1.4%高と反発してスタートし、翌24日も1.2%高と続伸。25日は0.2%安と小幅に反落したものの、26-27日も続伸して終了し、前週の下落幅の約半分を取り戻した。今週は引き続き原油相場の動向や米国による経済制裁の動きをにらんだ展開か。

▼指数チャート



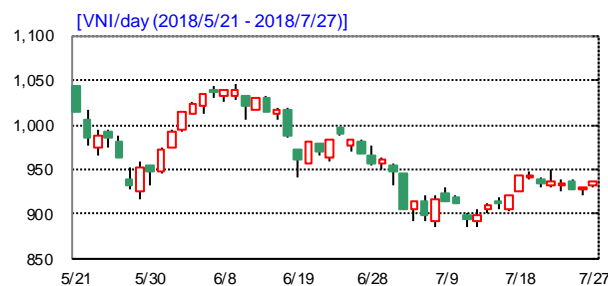
## 【ベトナム】 ベトナム指数は0.2%高と小幅続伸、今週は資金流出懸念の後退で堅

### 調か

### 先週の動き／今週の展望

VN指数は週間で0.2%高と小幅に続伸。米国株高や中国政府の財政出動が経済成長を促すとの期待を背景に底堅く推移した。前週末にトランプ米大統領が中国からの全輸入品に追加関税を課す準備をしていると発言したことを受け、週明け23日は下落して寄り付いたが、中国株の続伸を受けてVN指数も上昇して引けた。その後再び通商摩擦懸念が意識され24-25日と続落したが、週後半は続伸。フィリピン市場などの堅調な推移も安心感につながった。個別ではベトナム繁栄商業銀行が週間で10.5%安となった一方、不動産のノブランド不動産投資(10.1%高)、ビンググループ(2.7%高)、飲料のサイゴンビール(3.5%高)、ペトロベトナムガス(2.5%高)が指数を押し上げた。今週は資金流出懸念の後退を背景に堅調が続くか。

▼指数チャート

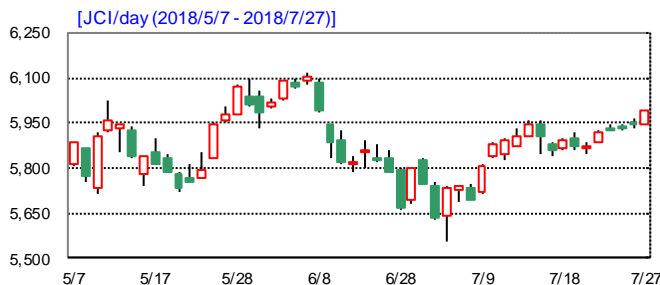


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.0%高、今週は 1日に7月のCPI発表**

ジャカルタ総合指数は週間で 2.0%高と反発。国内の重要イベントが少ない中、前週末から 6 営業日続伸と好調だった。週初の 23 日は消費関連株と通信株が買われて、指数は終値で 5 営業日ぶりに 5900 ポイントを回復。その後もじりじりと上値を広げると、27 日は 1-6 月期の純利益が 2 桁増加したアストラ・インターナショナルが指数上昇をけん引し、7 週間ぶりの高値を更新して取引を終えた。今週は 1 日に 7 月の CPI が発表される予定で、物価上昇圧力の低下傾向が続けば好材料。底堅く推移すれば 6000 ポイントを試す展開か。外部要因では、中国の公式の製造業 PMI と財新製造業 PMI が意識されそうだ。

### ▼指数チャート

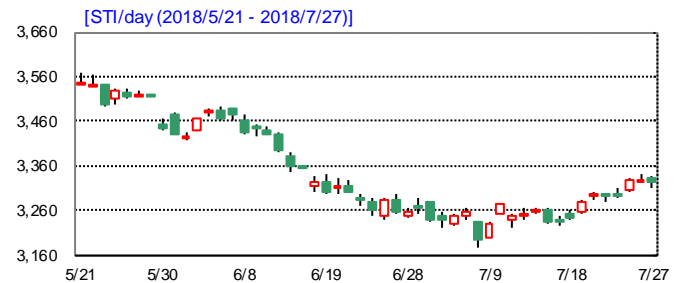


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 0.8%高、今週は 7月の製造業 PMI に期待**

スレーツタイムズ指数は週間で 0.8%高と 3 週続伸。週半ばの上昇が指数を支えた。週初の 23 日は前週の反動で 5 営業日ぶりに反落してスタート。24 日も小幅に続落したが、25 日は前日の NY ダウが反発したことを受けて金融株が買われ、指数は終値で前日比 1.0%上昇し、3300 ポイントを回復した。26 日は 6 月の鉱工業生産が前年同月比 7.4%増と市場予想から上振れたことが好感されて約 6 週間ぶりの高値を更新。ただ、27 日は 4-6 月期の純利益が前年同期比 59%減と低迷したシンガポール航空の下落などが響き反落した。今週は 2 日に 7 月の製造業 PMI が発表される予定で、前月の 52.5 を上回るかが焦点。

### ▼指数チャート

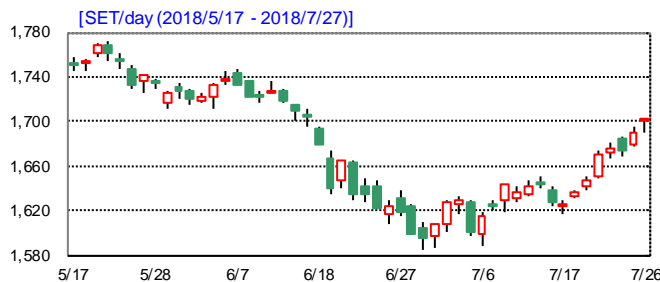


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.8%高、6 週間ぶりに 1700 ポイント回復**

SET 指数は 4 日間の取引で 1.8%高と 4 週続伸。国内の経済イベントが少ない中、おおむね堅調に推移し、連休前の 26 日には節目の 1700 ポイントを回復した。週初の 23 日は 4 営業日続伸してスタートしたが、24 日は利益確定売りが出て小幅に反落。一方、25 日は原油価格が上昇したことを受け、エネルギー株が買われて反発すると、勢いに乗った 26 日は終値で 6 週間ぶりの高値を更新した。今週は 31 日に 6 月の鉱工業生産と 5 月の小売売上高、1 日に 7 月の CPI が発表される予定。前週末に反落した原油先物価格が上昇に転じれば、株式相場の支援材料になりそうだ。30 日は国王誕生日の振替休日のため休場。

### ▼指数チャート

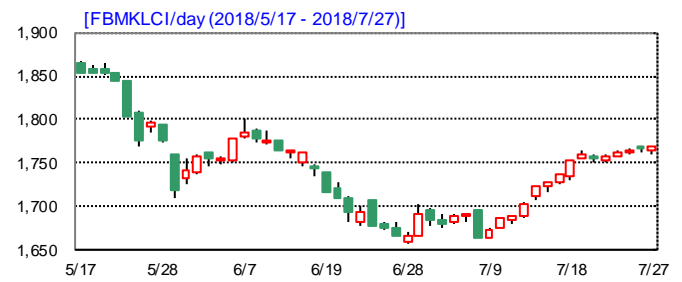


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.8%高、建設株が指数上昇をけん引**

クアラルンプール総合指数は週間で 0.8%高と 3 週続伸。小幅なレンジでもみ合いながら上値を広げ、週初から 5 日続伸した。23 日はマレーシア投資開発庁 (MIDA) が管轄する投資案件が総額 750 億リンギに上ると報じられたことを受けて建設株が指数上昇をけん引。24 日は中国政府が前日に発表した景気刺激策への期待感から同国の株式相場が上昇した効果で続伸した。週後半は世界貿易機関 (WTO) 会合での米中の衝突が逆風となる中、大型優良株が指数を支え、27 日は終値で 1 カ月半ぶりの高値を更新した。今週は 3 日に 6 月の貿易統計が発表される予定で、輸出額が 2 桁増を達成できるかが焦点になる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合もあります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。